

お湯と手と心がつたえるぬくもり

足湯・手もみ・傾聴の集い

震災での援助体験を普段のケアに！ 普段のケアの力を震災時の支援に！

災害や病気などで、辛い体験をする時、人は、孤立感、無力感、喪失感におそわれます。

そうした時、足湯・傾聴の取り組みが、大きな支えになることがあります。

声かけ、お湯、手にふれる、耳をかたむける・・・

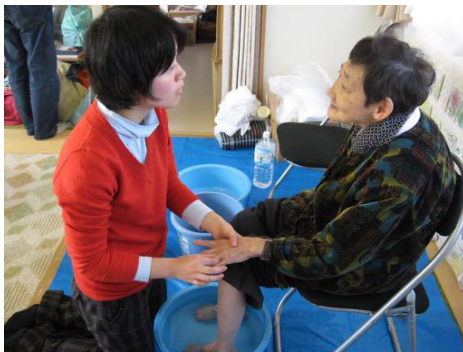
やがて、遠慮、無言、緊張、痛みの中から、つぶやきが生まれはじめます。

そのつぶやきから、こころ、からだ、くらしのニーズが見えてきます。

普段の時から、足湯や傾聴の取り組みを続けることが、普段の健康を守る力になると共に、

地震や津波など、急な災害時にも、お互いを助ける地域の力になります。

ボランティアも、足湯や手もみを体験し、ケアのありかたを一緒に学ぶ時にしましょう。



日時 2017年 7月8日(土) 受付12時半、開演1時～3時

会場 特別養護老人ホーム西長洲荘 (尼崎市西長洲町3-3-20)

内容 ①話し「足湯、手もみ、つぶやきの意義～震災時の援助体験から学ぶ」

頼政良太 (被災地NGO協働センター代表、元KOBE足湯隊代表、

震つな×日本財団ROADプロジェクト元事務局)

中越沖、東日本大震災、丹波市水害、熊本地震など約20の震災時に活動。

②足湯の実施 神戸大学などの足湯ボランティア大学生

3席設置。一人ずつ10分程度の足湯・手もみ・傾聴(20人ほど実施)

参加費 無料

定員 デイや特養の要介護高齢者や地域の方20人(前日までに要申込み。先着順)

主催 KOBE足湯隊(神戸大学などの大学生足湯ボランティアグループ)

被災地NGO協働センター、西長洲荘デイサービス・センター

協力 自然と健康フォーラム・ボランティア実行委員会

連絡先 社会福祉法人平成会 西長洲荘デイサービスセンター

☎06-6483-5525 (デイ:古賀、上田、表)、栗野ケアマネジャー☎080-1461-6202